



2026年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月8日

上場会社名 株式会社エヌジェイホールディングス 上場取引所 東
コード番号 9421 URL <https://www.njhd.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福田 尚弘
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長 (氏名) 野澤 創一 TEL 03-5418-8128
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年6月期第3四半期の連結業績（2025年7月1日～2026年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期第3四半期	7,579	13.2	123	520.9	102	—	△8	—
2025年6月期第3四半期	6,692	△12.5	19	△91.7	5	△97.6	△15	—

(注) 包括利益 2026年6月期第3四半期 2百万円 (—%) 2025年6月期第3四半期 △8百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年6月期第3四半期	△1.57	—
2025年6月期第3四半期	△2.86	—

(注) 2025年6月期第3四半期連結累計期間及び2026年6月期第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、希薄化効果を有する潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年6月期第3四半期	4,013	1,705	40.0
2025年6月期	3,749	1,713	43.0

(参考) 自己資本 2026年6月期第3四半期 1,603百万円 2025年6月期 1,612百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年6月期	—	0.00	—	—	—
2026年6月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
2026年6月期の配当予想につきましては、未定としております。

3. 2026年6月期の連結業績予想（2025年7月1日～2026年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,910	8.8	150	193.5	130	311.2	110	245.4	20.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年6月期3Q	5,350,400株	2025年6月期	5,350,400株
② 期末自己株式数	2026年6月期3Q	57,616株	2025年6月期	57,616株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年6月期3Q	5,292,784株	2025年6月期3Q	5,292,838株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・決算説明資料は、2026年5月8日(金)に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8
(収益認識関係)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、物価高の影響が続いているものの、個人消費にはもち直しの動きが見られ、緩やかに回復しておりますが、中東情勢が及ぼす今後の影響が注視されております。

ゲーム業界におきましては、モバイルゲーム市場は、シングルプレイの増加や課金に対する支出負担から市場規模は横ばいとなっておりますが、ファンベースを土台として幅広く人気を得る新たなタイトルも見られております。コンシューマー市場では、新型ハードの発売とともに多くの新作タイトルが発売・発表され、活性化しております。PCゲーム市場では、F2Pゲーム内課金モデルによる収益シェアの増加が見られるも、インディーからAAA規模まで多数の新作がリリースされ、買い切りモデルの収益も拡大しております。

モバイル業界におきましては、長期的な円安基調やコスト上昇を背景に端末価格の高騰が続いており、買い換え需要に牽引されてきた出荷台数の回復トレンドに一服感が見られております。通信各社においては、新料金プランを通じて非通信分野を含めた様々な付加価値サービスの拡充が行われております。一方、端末市場においては、買い替えサイクルの持続に向けて、コストパフォーマンスに優れた機種ラインアップの展開が期待されております。

このような事業環境のなか、当社は、ゲーム事業におきましては、開発プロジェクトの品質確保と海外対応業務の拡大に伴う体制強化に取り組んでまいりました。モバイル事業におきましては、イベント実施による販売強化と店舗ビジネスの拡大に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期累計期間の連結業績につきましては、以下のとおりです。

売上高は、ゲーム事業においては、運営タイトルの終了があったものの、ゲーム運営サポート分野における海外対応業務の受注拡大により、増収となりました。モバイル事業においては、主に新規出店した店舗の収益寄与や端末価格の上昇により、増収となりました。この結果、売上高は、7,579百万円と前年同期と比べ886百万円（13.2%増）の増収となりました。

営業利益及び経常利益は、ゲーム事業におきましては、開発プロジェクトにおける外注費の発生時期の計画ずれによる原価増加や運営タイトルの終了による減益要因があったものの、ゲーム運営サポート分野における海外対応業務の拡大による利益寄与により、増益となりました。モバイル事業におきましては、主に新規出店した店舗の利益が計画を上回って推移したことに加え、既存店の販売も堅調に推移したことにより、増益となりました。この結果、営業利益は、123百万円と前年同期と比べ103百万円（520.9%増）の増益となり、経常利益は、102百万円の経常利益（前年同期は5百万円の経常利益）となりました。

親会社株主に帰属する四半期純損益は、8百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失（前年同期は15百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

① ゲーム事業

当セグメントにおきましては、(株)ゲームスタジオ、(株)トライエース、(株)ウィットワン、(株)ウィットワン沖縄及び(株)テックフラッグにてゲームの開発受託及び運営受託等を行っております。なお、(株)ウィットワンと(株)ウィットワン沖縄は、2025年12月1日付にて(株)ウィットワンを存続会社として吸収合併をいたしました。

売上高については、運営タイトルの終了があったものの、ゲーム運営サポート分野における海外対応業務の受注拡大により、5,285百万円と前年同期と比べ511百万円（10.7%増）の増収となりました。

セグメント利益（営業利益）については、開発プロジェクトにおける外注費の発生時期の計画ずれによる原価増加や運営タイトルの終了による減益要因があったものの、ゲーム運営サポート分野における海外対応業務の拡大による利益寄与により、198百万円と前年同期と比べ39百万円（24.9%増）の増益となりました。

② モバイル事業

当セグメントにおきましては、(株)ネプロクリエイトにてauショップ等のキャリアショップ及び複数の通信事業者の端末・サービスを取り扱う販売店PiPoPark(ピポパーク)などの店舗を運営しております。

売上高については、主に新規出店した店舗の収益寄与や端末価格の上昇により、2,251百万円と前年同期と比べ375百万円（20.0%増）の増収となりました。

セグメント利益（営業利益）については、主に新規出店した店舗の利益が計画を上回って推移したことに加え、既存店の販売も堅調に推移したことにより、123百万円と前年同期と比べ46百万円（60.5%増）の増益となりました。

③ その他

当セグメントにおきましては、クレジット決済事業等を行っております。

売上高については、42百万円と前年同期と比べ8百万円（16.0%減）の減収となりました。セグメント利益（営業利益）については、16百万円と前年同期と比べ3百万円（15.9%減）の減益となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は4,013百万円となり、前連結会計年度末と比べ264百万円の増加となりました。主な要因は、売掛金及び契約資産の減少127百万円、現金及び預金の増加358百万円等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債は2,307百万円となり、前連結会計年度末と比べ271百万円の増加となりました。主な要因は、短期借入金の減少25百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少83百万円、長期借入金の増加146百万円、未払法人税等の増加52百万円、流動負債のその他の増加118百万円等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は1,705百万円となり、前連結会計年度末と比べ7百万円の減少となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失8百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきまして、ゲーム事業においては、ゲーム運営サポート分野での海外対応業務の業績寄与を引き続き見込んでおります。外注原価の発生時期の計画ずれによって収益性が低下していた開発プロジェクトについては、下期における正常化が進んでおります。また、新規開発案件については、開発初期フェーズにて小規模体制ながら、開始しております。この結果、ゲーム事業の売上高及びセグメント利益は計画をやや下回る見込みです。モバイル事業においては、主に新規出店した店舗の好調に加え、既存店の販売も堅調な推移を予想していることから、売上高及びセグメント利益は計画を上回る見込みです。

当連結会計年度(2026年6月期)における通期の業績見通しにつきましては、2025年8月8日発表の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	851,914	1,210,672
売掛金及び契約資産	1,359,557	1,232,109
商品	174,365	188,909
仕掛品	27,410	30,053
貯蔵品	1,431	1,171
その他	188,805	222,191
流動資産合計	2,603,485	2,885,106
固定資産		
有形固定資産	86,957	99,235
無形固定資産		
のれん	271,317	207,534
その他	113,545	135,477
無形固定資産合計	384,863	343,012
投資その他の資産		
差入保証金	349,380	358,421
その他	391,171	394,250
貸倒引当金	△66,524	△66,524
投資その他の資産合計	674,027	686,147
固定資産合計	1,145,848	1,128,395
資産合計	3,749,334	4,013,501
負債の部		
流動負債		
買掛金	311,833	321,486
短期借入金	525,250	500,000
1年内返済予定の長期借入金	316,000	232,200
未払法人税等	38,755	91,003
賞与引当金	25,644	78,982
その他	434,640	553,437
流動負債合計	1,652,123	1,777,108
固定負債		
長期借入金	111,000	257,800
退職給付に係る負債	161,667	170,247
その他	110,994	102,477
固定負債合計	383,662	530,525
負債合計	2,035,785	2,307,634
純資産の部		
株主資本		
資本金	592,845	592,845
資本剰余金	350,290	350,290
利益剰余金	728,143	719,828
自己株式	△59,146	△59,146
株主資本合計	1,612,132	1,603,817
新株予約権	34	34
非支配株主持分	101,381	102,014
純資産合計	1,713,548	1,705,867
負債純資産合計	3,749,334	4,013,501

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)
売上高	6,692,782	7,579,418
売上原価	5,381,798	5,946,883
売上総利益	1,310,984	1,632,534
販売費及び一般管理費	1,291,136	1,509,292
営業利益	19,847	123,242
営業外収益		
受取利息	723	2,054
不動産賃貸料	4,919	4,919
その他	1,562	1,265
営業外収益合計	7,204	8,239
営業外費用		
支払利息	12,943	14,222
支払手数料	5,537	8,323
その他	2,827	6,689
営業外費用合計	21,309	29,235
経常利益	5,743	102,246
税金等調整前四半期純利益	5,743	102,246
法人税等	13,949	99,369
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△8,205	2,876
非支配株主に帰属する四半期純利益	6,905	11,191
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△15,111	△8,314

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△8,205	2,876
四半期包括利益	△8,205	2,876
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△15,111	△8,314
非支配株主に係る四半期包括利益	6,905	11,191

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)
減価償却費	48,600千円	63,725千円
のれんの償却額	62,521 "	63,782 "

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ゲーム事業	モバイル事業	計		
売上高					
一時点で移転される財又はサービス	4,023,456	1,875,590	5,899,046	50,830	5,949,876
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	742,905	—	742,905	—	742,905
顧客との契約から生じる収益	4,766,361	1,875,590	6,641,952	50,830	6,692,782
外部顧客への売上高	4,766,361	1,875,590	6,641,952	50,830	6,692,782
セグメント間の内部売上高又は振替高	8,013	28	8,041	—	8,041
計	4,774,375	1,875,618	6,649,994	50,830	6,700,824
セグメント利益	158,851	76,688	235,539	20,029	255,569

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、クレジット決済事業等でありま
す。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント計	235,539
「その他」の区分の利益	20,029
のれん償却額	△62,521
全社費用(注)	△173,200
四半期連結損益計算書の営業利益	19,847

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ゲーム事業	モバイル事業	計		
売上高					
一時点で移転される財又はサービス	4,451,913	2,251,222	6,703,136	42,686	6,745,823
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	833,594	—	833,594	—	833,594
顧客との契約から生じる収益	5,285,508	2,251,222	7,536,731	42,686	7,579,418
外部顧客への売上高	5,285,508	2,251,222	7,536,731	42,686	7,579,418
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	2	2	—	2
計	5,285,508	2,251,224	7,536,733	42,686	7,579,420
セグメント利益	198,449	123,104	321,553	16,836	338,390

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、クレジット決済事業等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント計	321,553
「その他」の区分の利益	16,836
のれん償却額	△63,782
全社費用(注)	△151,365
四半期連結損益計算書の営業利益	123,242

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等の注記)」に記載のとおりであります。